今日は1号トレンチ内の遺構の確認されていない調査区で、地層調査を行いました。
予想以上に厚い関東ローム層が確認できました。
ローム層は1m以上の厚さがあり、底の方から白い粘土層が出てきました。

調査の都合で掘ることができないときは、皆さん黙々と土器洗いをしています。
自分たちが掘り出した土器の特徴を観察しながら「これは〇〇式！」と、玄人はだしです。

2,3号トレンチの範囲で確認されていたもう1軒の住居跡。
床、壁の一部を検出しました。
住居内を埋めている土の上部からは縄文土器が出ていましたが、床上からは古墳時代後期の土器が出土しています。
こちらの住居の時期も古墳時代のようです。
今回地下レーダーで見つかった住居は、二つとも古墳時代のもののようです。